

防災活動内容報告会アンケート；

多くの方から貴重なご意見を沢山いただきました。

(アンケート回収票数 76 票/参加者数 119 名)

これらについては会員で共有し、今後の活動に活かしてまいります。

●：アンケート記載原文です

⇒：アンケート記載内容を項目毎でまとめています

問 1) 本日の報告内容で、あなたの地域の防災活動に取り入れたいことや役立ちそうな内容がありましたらお書きください。

⇒活動内容や体制を見直したい

- 事例発表のあった地区の活動が熱心であることに驚きました。自分の地区の活動の見直しの参考にしたいです。
- 自治会での活動を知り、その進歩に感激した。当区でも少しでも近づけるよう、防災体制の見直しが必要と思った。
- マンションや集合住宅では、近所づきあいが比較的少ないケースもあり、なかなか一致団結的な活動は難しいが、今後ともできることは進めてゆきたい。
- 今回の防災士連絡会「防災活動内容報告会」は、啓発活動に大きな力になったと思います。
- 防災チームや制度には完成形はないと考えています。常に変革が必要ですので。3区の発表をお聞きして、多くの参考点に気づかされました。ありがとうございます。
- たくさんあるが、地域特性もあり、なかなか難しいのが現状である。少しずつ取り入れていければと考える。
- 防災チームの組織表に防災士が入っていて、参考にしたい。
- 地域の人々が防災意識を高めることが大切と思いました。有事の時には、全ての人が助けを求める事から、「自分が自分を守る、地域が地域を守る」
- そもそも地域住民の参加意識が低い。一部役員とボランティア参加者のみの活動になっており、住民参加の方法、どうしたら住民が参加してくれるかに知恵を絞ることが大事。
- 防災はコミュニティで作られている。訓練だけを考えずに、広く集まれるものに。
- 地域の人に防災の備えの大切さをアピールできる場があればよい。
- 各地区の活発な活動が参考になった。
- 各地区の防災に対する取組は、今後の参考になると思われ、よかったと思う。
- まず、区民の防災意識が低いという視点から出発することが大切。
- 防災意識と助け合いの向上
- 自主防災会の規約の制定。
- 防災広報の発行
- 自治区での防災アンケートの実施
- ホームページは、あった方がいいと思った。
- 連絡網、防災計画、防災マップ

- 具体的な避難行動訓練が必要と思った。
- 防災訓練、計画、チーム作り
- 防災訓練での全戸配布。単に回覧として配布するのではなく、独立して配布すること大事。
- アパート・マンション加入者で、町内会未加入の方に、防災のやり方の方法の案内・参加の教えが必要。
- 外国籍者、自治会未加入者への対応が課題
- HPで勉強させていただきます。
- 防災士なので、どの内容も役立つ内容ばかりでした。
- 早期の地区防災計画の作成

⇒ 3つの事例発表の内容から具体的に学びたい

- 宝来坂区：○地域の警戒レベルの雨量計は参考になる。
○防災トランシーバー（黄色のハンカチ、自地区は白タオル）は必需品
○自治会の取組 → 区取組の参考になる。
- 宝来坂区の防災活動を全て学びたいと思った。一つでも、自地区で取り組んでいきたい。
- 宝来坂区の活動は具体的で、参考になる事例が多くあった。
- 宝来坂区の災害対策本部の立ち上げ基準・判断を参考にしたい。
- 宝来坂区の内容を再確認する。
- 宝来坂区の黄色いハンカチは導入したいなと思います。（11）
- 黄色いハンカチ。要支援。手上げ方式。ラインによる情報提供。
- 黄色いハンカチ — 安否確認の時短・省力化（4）。全ての自治区で取り入れたらいいと感じました。
- 「我が家は無事です」の黄色いハンカチにより安全確認をされる活動に驚いた。自分の住む地区でも、安否確認の方法を検討すべきと感じた。
- 宝来坂区の広報紙発行、黄色いハンカチ。
- 防災フェスタを各地区で行いたい。
- 防災フェスタ（2）。250名、うち子ども100名（子どもを含めた活動が大事。）
- 防災フェスタで、楽しみながら参加できるような行事があれば良いと思う。
- 定期的な消火栓機具の点検・整備と、防水訓練の実施が必要。
- 消火訓練、消火機器点検 … 重要事項
- 消火栓、ボックスの配置図。
- 防災（消火ホース）ホースの有効期限の点検。
- ホースの更新（2）
- AEDの配置マップの作成、伝達手段のトランシーバーの台数を増やすなど、大変参考になりました。
- トランシーバーの活用、通信・通話（3）
- 宝来坂の取組を紹介いただき嬉しく思います。少しでも前に進めて頂けたら、TTP徹底的にパクリ！ まねてもらえたらと思います。
- 宝来坂区取り組み事例、水戸学区の事例、大変参考になりました。早速検討したいと思います。

- 水戸学区のように、3区がまとまった地域は活動がしやすい。
- 玄関先避難訓練(7)－ 参加意識の向上
- 水戸：玄関先避難訓練、議論する場が最優先
- まちづくり協議会と地区役員さんと共同組織で活動されていることは、取り入れたいと思いました。
- 岩根西はスムーズで見やすく、聞きやすかった。
- 岩根西区の発表は生々しくよく理解できた。
- 岩根西の活動報告が役立ったと思います。
- 岩根西区：先ず、防災に必要な項目の表化、区内を歩いて弱点を確認、アンケート
- 岩根西区の活動報告：分かりやすくユーモアがあって、聞きやすかった。
- 岩根西区の報告・活動は、具体的でよかった。
- データの収集、ブロック塀等、危険要因の把握
- 岩根西の訓練時の役割分担(民生、日赤, etc)
- 岩根西区の高齢者避難の実施展開について、情報発信または情報入手したい。今後どの地区でも多くなるため、各区に展開してほしい。発表資料をHPIに掲載。
- 岩根西区：LINEが使えないための連絡方法
- 手上げ方式の要支援希望をとり、近くの人で紐づけ。

⇒避難訓練を重視したい

- 避難訓練(学区、区で)
- 南海トラフ地震を想定した避難訓練の実施がよい。
- 繰り返し実施すること。

⇒本会、報告会の改善要望

- ◆防災士連絡会「何をした、何をした」、まったく市民には伝わっていない。自分の中に入ってくことはほとんどない。
- ◆全体に流すのではなく、テーマを絞って報告してもらった方が、参考にするべき点が分かったと思う。

問2) 各地域においては、地区防災計画の作成とともに、防災士の認知度アップを図り活動の場を充実することが課題となっています。防災士の認知度アップや活動の場の充実についてのアイデアがありましたら、何なりとご記入ください。

⇒防災計画作成等、地区の防災活動に防災士が関わる

- 防災士が何をしているか区民には知られていないのが現状です。昨年度から区の防災委員会に入っただき、現在「地域防災計画」策定に取り組んで頂いております。
- 防災士の認知度や活動内容、組織等があまり見えない状況にあります。本日の講習会で初めて知りました。また、地区内に防災に熱心なリーダーがいないと活動の充実は難しいと感じました。
- 「防災士の活動の場がない」… 防災組織に一番重要でスキルを持った防災士が活躍できる組織作りが重要。
- 地区防災計画を作成するにあたって、地域在住の防災士の参加を。
- 地区防災グループを自治会から独立した組織として活動することで、防災士の知名度が上がると思う。地区で誰が防災士か知らないし、活動内容はさっぱりわからない。
- 防災士の地域活動を広げる必要がある。
- 各区において、防災士さんを把握し、できる限り地区の自主防災組織の中に入れてもらうように持っていく。もともと防災士の育成は、そのために計画されたもので、資格取得経費も地域が出しているので、生かすのが大切であると考えます。
- ふるさと防災チームの訓練にリーダーとしてお願いしている。
- 自分・地域にあった防災例を見直す。
- 複雑な計画ではなく、現状把握を十分にしておき、分かりやすい実践的な計画を作成するよう指導していただきたい。
- 形だけ計画を作って防災士の名前を入れたようなものではなく、実現可能なものにしていくべきだと思う。
- 地域での活動を実施するにあたり、市からメニュー等の紹介を要望する。
- 区から防災士に手当と謝礼をしている。

⇒HP等での広報活動を重視する

- 今回この組織を初めて知りました。月刊誌「広報こなん」に組織や活動内容を掲載してアピールしてください。
- HPにあげていることを広く周知するための工夫が必要（広報誌に掲載されていますか？）
- HPのPR。回覧等での情報提供。
- ホームページなどを通しての情報の共有。まずは、防災士の役割と必要性を知っていただく。
- インスタ等、SNSの活用
- YouTubeなどの媒体を利用し、いつでも公聴できる環境があるとよい。
- 防災広報紙を発行いただき、まずは周知いただくのが良いと思います。
- 湖南市広報誌に掲載してみても？ 区役員をしているから知っているが、一般の人々は知らない人が多数。イベントに参加してみたりとか、いろいろしてみるといいと思います。

- HP作成・広報誌等は、市民全体にPRできるように、市としての費用援助が欲しいと思います。
- ホームページの活用

⇒地区役員と防災士との連携を充実する

- 区長さんの意欲の問題ですね。
- 区長と防災士の合同研修
- 防災士（幹事）から区への報告をさせてほしい。
- 地域の防災の方との連携や活動などを、年1回でもいいので開きたい。（連携会？）
- 地区の清掃活動後に、続きとして器材の使用方法的練習を少しずつ実施する。
- 行動することで周囲を巻き込めるようにできればよい。参加することがまず第一。
- 地区の運動会等で訓練にもなる競技を取り込み、子どもたちにも防災を意識させる。

⇒防災士のレベルアップを図り、地域でアピールする

- 防災士の認知度アップは飛躍しすぎ。それより、防災士のレベル、力量、能力アップが先。防災士のレベルが高ければ、住民が頼って来そう。⇒ 本日の企画、報告会開催は素晴らしい。アピールになっている。
- 防災士の勉強会、県外視察などを行い、地区・市の行事・防災訓練等でアピールする。（2）
- 市内の統一された防災指導が必要。（現状は各区の取組はバラバラ）

⇒防災士が関わるイベントを企画する

- 防災グッズを中心に販売するマルシェイベント
- 防災士や防災士連絡会の会員にならなくても気軽に楽しく「防災」に関われる機会の提供
- 防災士の増加や防災士連絡会の認知度向上というような防災士のポジション確立を目的とする活動ではなく、湖南省で暮らす人たちが自然と楽しく防災意識を向上できるような肩ひじ張らない活動をしたい。（例）防災×運動会、防災×マルシェ、防災×キャンプ、防災×ゲーム

⇒防災士自身の認識をアップする

- 地域での集まりがなく、防災士同士が顔も知らない現状がある。
- 地域での活動がないので、自分で他のボランティア活動の中で、防災士を意識しているが…。
- 他人任せにしないで、先ず自分から一人立つ精神からと学びました。
- 一人で自治会に働きかけができていない。こういうことの研修をしてほしい。（これからですね）協力し合いたいが、リーダー的なことができていない。

⇒その他、様々なアイデア・意見

- 湖南省43区の防災活動において、温度差がかなりあると思うので、活発な地区に不活発な地区をまねき、活動スキルアップの指導や提案をすると思う。
- 活動実績の少ない区に対して、育成資金を減少してはどうですか。
- 今の防災無線では、家の中では聞こえない。高齢者にはネットは使えない。家の中でも確認できる仕組み（家内放送器など）が必要と思う。
- 必ず、アンケートの結果を広報で公表してほしい。

⇒本会の改善要望

- ◆防災士を習得されている方が、何故防災士会に入られていないのか？
- ◆まったく活動していない防災士が4割もいるのに、どうしていくつもりなんですか。
- ◆防災士の活動など何も感じない。もっと若い人の防災士や活動できる環境を作るべきだと思う。

問3) その他、本日の報告会に参加されてお感じになったことがありましたら、何なりとご記入ください。

⇒若い人が参加できる工夫が必要

- 年配の男性が出席者のほとんどを占め、女性・若者（生産年齢）の出席者がとても少ないと感じた。原因は、防災士という一つの資格が防災計画や連絡会によって、何か高尚なもの・地域の代表者のようなものと誤認されていることではないかと思った。誰でも有事の際に自分や身近な人の被害が小さいほうがよいはず（≠ 防災に無関心）なので、もっと気軽に防災に関わる環境づくりに連絡会という組織が生きると良いと思います。
- 老老防災になっており、災害発生時に対応できないと感じており、よい対策も出てこない現状です。他地区においても同様か？
- 高齢化が問題。いかにして若い人を取り込んでいくのかが、今後の問題だと思います。
- 参加者が少ない。
- 若い人が少ない。
- 防災士の高齢化による次世代への継続が大変だ。
- 若い方にも知ってほしいが、（今日の情報を伝える）何か良い方法はないものかな？
- 若い世代への防災意識向上への啓発活動が必要・大切と思いますが、参加しやすいイベント型の防災訓練を市主体で開催してはどうか？
- 若者の参加が少ない。ネット社会であるので、ネットでの参加をしてもらい、そのアンケートをネットで返信してもらい、防災意識の必要性をもっと知ってもらうべきだと思います。

⇒防災意識を高めることが大切

- 各区防災意識が高く感じた。防災意識の低かった地区も、少なからず意識を高めていると感じた。避難意識はまだ低いと思う。
- 防災に関心のある方が多数おられる。命と財産を守るために、一致協力できる体制が求められる。財産を守る視点を啓蒙する。
- 同様の苦勞を持たれていると感じた。防災意識がまだ低いと思った。
- 防災訓練も形式的になりがち。
- 防災の意識が低い。住民の意識（取り組み方など）の向上が課題。災害が少ないと（大きな災害がないと）思う住民が多い。

- 現実に水害など体験しないと、意識が高まらない。
- 湖南省防災士連絡会を主として、各区での防災意識の向上が必要である。また、誰もが参加できる防災訓練計画を作成することが必要。
- 地域住民の防災意識向上に、具体的取組が必要と感じました。
- 防災意識を区民全員が認識して行動できるよう、防災士会の今後の活動に期待します。

⇒有意義な良い機会だった

- 感動しました。報告の全ての方に感謝です。
- 災害について考えるいい機会になったと思います。
- 事例発表の3地区とも素晴らしい活動をされておられて、勉強にさせていただきます。
- 他地区の防災訓練の取り組み方が見れてよかった。
- 他の自治区の活動内容が分かり勉強になりました。今後も定期的に行っていただきたいです。
- 大変参考になった！勉強になった！（3）
- 事例を参考にしていきたい。
- 発表内容は充実しており、説明も上手でよく分かった。
- 有意義でした。
- 他地域の活動内容は非常に参考になり、有意義であった。他地域の特性も理解でき、非常に良い。

⇒地域によって取組にかなりの差がある

- 地区によっては、防災活動に積極的に取り組んでおられるところがあり、地区による差や違いを感じた。
- 各区の進捗度のレベルを合わせるために、各区の良い活動方法を取り入れて実施することを、ひんぱんに活動してください。
- 各区で進み方が違うことがよく分かった。
- 地区毎の進捗度合の差を埋めるのに、市としての関わり合いは何もないのでしょうか。各区にお任せ状態では差が拡大するばかりでは？
- 恒常的な訓練が必要なことを再認識した。
- 地域の特徴を把握し、それに応じた活動をしていくことの重要性を再確認しました。
- どんな活動でも実際に行うことに意味があると感じた。実行する前に打ち合わせや会議のみに時間を費やすのは無駄である。

⇒事例発表会を継続してほしい

- この事例発表会は、必ずやってほしい。
- 報告会は毎年開催し、一般参加者も増えるようになって良いと思いました。
- コロナ禍で人数制限の必要があるが、このような事例報告・活動報告を行い、一般の住民の方にも学んでいただく機会を設定していくことは、ご検討願いたいです。
- 継続は力です。今後年1回とは言わず、年に2回以上の開催と出前講座、チラシ・ホームページな

どの周知が大事で、その気にさせる取組が大事ではないでしょうか!!

- 思っていたより意味のある活動をされていることが分かりました。改めて連絡会の必要性が理解できました。

⇒地区防災計画の作成について

- 地域防災計画… よくわからない。資料でも配布で良いのでは? (一般論を)
- 地区防災計画の見直し。
- 各家庭で防災計画を作られるように指導を。
- 発表会もいいが、先ず本音で話し合える検討会をして、地区の現状把握をすることが先決だと思います。

⇒報告資料の配布を望む

- パワーポイント資料の添付を要望します。説明等、その時に確認することができる。(後のHPから出力される方は少ないと思います。)
- 身近な地区の事例は、大変参考になります。発表事例を早急にHPにUP願いたい。
- 本日の資料を冊子にして各自治会・まちづくり協議会への配布をお願いします。
- 「ホームページを参考」が多いですが、各地区の研修報告を年1回でもいいので、内容を知らせてほしい。

⇒防災士の育成を計画的に

- 形式的な防災士育成ではなく、必要なスキル・人材の育成が必要と痛感する。
- 市が防災士の育成を継続的に実施して欲しい。
- 地区での防災士育成のため、市としてしっかりプログラムを作るべき。この一年、地区の自主防災担当と言われても、何もせずに次にバトンする。

⇒スキルアップ研修の充実を

- スキルアップの部の研修は、参加しやすかった。
- 救急救命講習を各地区に年1回実施してほしいです。7回実施は知りませんでした。

⇒その他のアイデア

- 消防団とのつながりは必要ないでしょうか。縦のつながり → 横のつながりへの展開を考えてください。
- 行政が動けば、地域は変わる。

⇒運営に関する様々な要望

- ◆トイレ時間がほしかったです。
- ◆休憩時間は必要(出席者に高齢者が多い)。演者の話している途中で席を立たなければならぬ。

- ◆ホール入り口で検温なくてよかった？
- ◆タイムキーパー必要
- ◆時間配分がずさん。レジュメに示されている時間は守るべき。
- ◆スライドショーで、逆に分かりにくかった。
- ◆字が小さくて見にくい。
- ◆発表会をするなら、失敗談を重視して現実的なものをしてほしい。市長の長ったらしい話なんかどうでもいい。
- ◆市長の場違いの話はもういい。あなたの防災に対する思いは何なんですか。市長は挨拶の後、発表を聞いていたんですか!!